「テ モ」 の 周 辺

——「テデモ」をはじめとして——

田 中　　寛

キーワード
逆条件　手段行為　意志性　最大許容範囲　取り立て助詞

1. はじめに

逆接の条件文「テモ」についてはこれまで多くの考察がなされており，そこでは「ノニ」との違いや類似点，従属文，主文にあらわれるさまざまなムード的成分，さらには「間違っても」「死んでも」「神に誓っても」「口が裂けても」といった固有の副詞的な構文機能なども議論の対象となっている．「テモ」構文の考察には，新事態を誘発する契機的な要素の所在を明らかにするとともに，他の条件文と対置させてそれが使われる方略的な観点，つまり語用論的な視点からのアプローチが不可欠となる．

本稿で扱う「テモ」の周辺とは「テモ」の派生形としての「トシテモ」，「ニシテモ」，「トイッテモ」などの類型や，「死んだとて」，「死のうと(も)」，「死のうが」，「死ぬんであれ」といった類意表現を指すと同時に，「テデモ」をはじめとする，いくつかの変形的な用法を意味する．これらは「テモ」という構文の範疇を形成するものであるが，ここでは後者の複合接続助詞としての特徴を考察の対象とし，「テモ」とどのような連続性をもち，どのような成立条件を必要とするかを検討する．これらの独自の表現機能を位置づけるには，隣接する用法との相互比較的な考察が必要である．「テデモ」，「ナイマデモ」，「マデモナク」，「テマデ（モ）」などの出現する個別の条件を，話者の意志性の表白という観点から指摘し，一方で

それとかかわる取り立て助詞「デモ」,「マデ（モ)」の機能について，考察を加えることにしたい.「テモ」構文の周辺を考察することはまた,「テモ」構文そのものの本質を再考する手掛かりにもなるはずである.

2. 「テデモ」の用法

2.1. 「テモ」と「テデモ」

「テデモ」は動詞テ形に取り立て助詞「デモ」がついたものであるが，これまでの「テモ」構文の考察において,「テデモ」の用法に言及したものはほとんどみられない.「デモ」についても，名詞成分につく態様についてはその機能的特徴はほぼ明らかにされているものの,「テデモ」の結合形については，記述が十分ではない[1)]. 沼田（1993）には取り立て助詞の出現位置をしめした一覧があり，その用法として動詞テ形に「デモ」のつく形があげられているが，具体的な用例の検証はなく，その実相を確認することはできない.「テデモ」は「テモ」の強調とされがちであるが，その使用意図については新たな視点からの説明が必要とされる.

1） a．借金をしても家を買う.

b．借金をしてでも家を買う.

このように,「テモ」「テデモ」を比較した場合，a．の場合は「借金をしてもいいから，家を買う」といった，複文としての論理的関係が明らかであるが，b．の場合は，前件の行為手段である「借金をして」を他の複数手段からとくに取り立てて提示したもので，その行為選択は主文における「家を買う」という意味づけを極端に限定，強化したものといえる.「テモ」が明らかな仮定的状況を示しているのに対し,「テデモ」は「デモ」の機能に注目すると，手段的状況を示しているといえる．さらに，

2） a．ここはひとつ波風を立てても是非とも懸案を成立させたい.

b．ここはひとつ波風を立ててでも是非とも懸案を成立させたい.

などの比喩的な表現でも，一見同様に機能しているようにみえるが，b．の「波風を立てて」という付帯状況は意志的な強硬手段として意味づけら

れる.「テデモ」はある目的達成のために費やす努力や試行をあらわすもので，主文に意志性とは無関係の状態性や心理的活動などをあらわす述語成分はあらわれにくく，また無条件文や，類義反復表現にも適応しない.

3)*a．先生に聞いてでもわかりません.

*b．家に帰ってでも誰とも口をきかない.

*c．彼は疲れていてでも机に向かっている.

4)*a．誰に聞いてでもわかりません.

*b．働いてでも働いてでも暮らしはよくならない.

*c．来てでも来なくてでもどちらでもいいです.

*d．泣いてでも笑ってでも，今日で仕事は終りだ.

これらはすべて「テモ」によってしかあらわされない．また，「テデモ」は「テモ」と同様に，時間的な動作行為の継起や付帯様態をあらわす場合，対比，原因などの場面においても成立しにくい.

5)*a．朝早く起きてでも／ても散歩します.

*b．鏡を見てでも／てもひげをそります.

*c．昼間働いてでも／ても，夜勉強します.

*d．手紙をもらってでも／ても，安心しました.

本稿では明らかに非用とされる3）～5）のようなケースをのぞき，「テモ」と重なりをもつ「テデモ」の用法を検討してみたい.

2.2. 「テデモ」の成立条件

「デモ」が「テ」形につくのは，動詞の「テ」形に限られている．名詞の「デ」形や形容詞の「クテ」形には接続ができない.

6)*a．雨ででも行きます.

*b．高くてでも買います.

名詞につく場所格，手段格，理由原因格，単位格などの「デ」も「デモ」を接続すると不自然である．これらはむしろ「デモ」だけが自然である.

7）a．それなら近くのスーパー *ででも／でも売っています.

b．鈍行の電車 *ででも／でもそんなに時間はかかりません.

c．ひどい風邪 *ででも／でも，試合に出場することになった．

d．１万円ぐらい *ででも／でも，買えないことはありません．

「テデモ」が「～だから」「～したら」という，前提となる一定条件の状況のもとで発動される強硬的な手段を明言し，実現のためならばそのような極端な手段を用いるのもやむを得ない，ためらわない，といった強い決意をあらわす以上，動詞表現に限られるのは当然であろう。

動詞の「テ」形はさまざまな意味用法を有しているが，「デモ」が接続するのは手段としての動作行為をあらわす場合である．

8）地理的には，その島は淡路島と四国の間をうずまく鳴門海峡のはずれにあり，距離にすれば淡路，四国双方ともに約×キロにすぎない．泳ぎが達者なら潮の干満のはざかいに泳いででも渡れるかもしれない．（散華　p. 9）

「テデモ」の前件と後件には通常，意志性をもつ動作行為動詞が必要で，後件には可能動詞などもあらわれやすい．

9）曲順を入れ換えてでも全曲を編集録音．（家電製品取扱説明書）

これも「曲順を入れ換えるようなことがあっても録音が可能」という意味で，通常の機能範囲を越えた性能をあらわしている．「テデモ」はこの場合，「ナガラデモ」に言い換えることが可能である．「テデモ」は8）や9）の「～ようなことをしても／ようなことがあっても」という，ふだんの行為手段以外の極限値（ここでは“余裕”という意味で“最大許容範囲”と称する）をあらわしている．「テデモ」は前接部分の動詞が意志遂行のための極端な手段設定を意味するところから肯定形接続に限定され，否定形接続は一般に成立しない．

10）?a．たとえ一晩ぐらい寝なくてでも，平気です．

?b．出席しないででも，連絡ぐらいはしてください．

この否定形接続についてはあとの「ナイマデモ」のところでふれたい．

次に「テデモ」は後件述語に意志，希望願望や当為のモダリティ表現をともなうことが特徴的である。典型的な例としては次のようなものである．

11) a．人を押し退けてでも，出世したいと思う．

b．損をしてでも，新しい家を買い替えたい人がいる．

c．武力に訴えてでも，国を守ろうとする姿勢が必要だ．

d．たとえ這ってでも，試合には出てくるべきだ．

だが，後件の述語成分に意志形があらわれているからといって「テデモ」が常に成立するわけではない．前件において動詞接続成分は人間の力の及ぶ具体的な動作行為をあらわすもの以外は一般に除外される．

*12) 雨が降ってでも私は行きます．

ここで取り立て助詞「デモ」の用法を確認しておくと，

a．許容される最低限の場合を例示する．

；今からでも遅くない／牛乳だけでも飲んで行きなさい．

b．考えられる消極的な条件の臨時的，選択的成立をあらわす．

；お茶でも飲もう／明日にでも来てみてください．

c．他の一般と違うようでも結果は例外たりえないことをあらわす．

；中卒者でも社長になった人はたくさんいる．

d．不定の指示詞につき，消極的な意味で全面肯定をあらわす．

；どこへでも好きなところへ行きなさい．

の四つの用法に大別される[2]．ここで扱う「テデモ」の「デモ」はa．の「許容される最低限の場合」の例示に近いものと考えるが，「最低限」は積極的な“最大許容範囲”の意味で用いられていることに注意したい．また，次の「テデモ／ナガラデモ」はb．の用法の延長として考えられる[3]．

13) a．電車にでも乗って行きましょう．

b．電車に乗ってでも行きましょう．

14) a．コーヒーでも飲みながら話しましょう

b．コーヒーを飲みながらでも話しましょう

このように「デモ」は対象物の取り立てと行為の取り立ての双方の機能がみられるが，一般に「テデモ」の場合は対象物の取り立てはできない．

15) a．借金をしてでも家を買いたい．

#b．借金でもして家を買いたい．

15）のb．の場合は別の文脈的な支持でしか解釈されない．ここで1）であげた「デモ」と「テデモ」がほぼ等しく機能するような例にもどり，「譲歩」の意味から「意志性」への連続性を考えてみることにしよう．

16）「ほかに肉が食えないから，あれを食うんじゃない．うまいからなんだ．罰金払っても食いたいほどだよ，まったく」（もの食う人びと　p. 41）

「食いたい」という願望をみたすためには，むしろ「罰金を払ってでも」という意志性の明示こそがふさわしいが，ここでは「たとえ罰金を払ったとしても」という非現実状況を強調しているからであろう．また，

17）死んでもおまえを恨みとおすからな．

の例では，「死んでも」は「たとえ死ぬようなことがあったとしても」あるいは「死んでからも」という仮想，累加的状況のもとでの意志をあらわし，「テモ」は「決して」という副詞にかわる具体的な心情を明示している．これに対して，18）の「テデモ」は「それこそ」という副詞が示すように行為の取り立てが強くあらわされ，「たとえ」という仮定の副詞をともなうことは一般に不自然である．

18）けれどもあれから二三日経って，お姉様のご縁談が急に決まってしまった時，私はそれこそ死んででも，お詫びをしようとかと思いました．（大導寺　p. 62）

「死んででも」の「テデモ」は「死ぬ」ような極限的な行為を提示して，それほどまでの決意をくだす本心を聞き手に推測させる意味をあらわし，単に「テモ」が仮想によって程度をあらわす言い方とは異なったニュアンスをあたえている．また「死んでも」が「死ぬようなことがあっても／死ぬようなことになっても」といった，受け身的，自然発生的な意味であるのに対して，「死んででも」の場合は「死ぬ」という行為が積極的な手段として差し出されている．以下の用例においても「テデモ」が「テモ」に置き換わることができないのは，もはや非現実寄りの譲歩という意味から

はなれて，現実の側における手段行為の強行的な用意をあらわしているからにほかならない．

19) 物資があり余っている状況下でモノを売るのは難題で，モノが売れないときは夢を売るのが売り手側の活路である．夢がないときは作ってでも売ることになる．

20) 私はその苦しみの中で，せめてはN家との縁談を断ってでも，幾分一身を潔くしようと決心したのでございます．(大導寺　p. 55)

21) 「ぼくはね，話して尽きない宝庫だよ．君が驚くようなこと，いくらでも話せるよ」
「そう思うだけで楽しいわ」
「もし話すことがなくなったら，拵えてでも話すよ」(夏の海の色　p. 14)

22) もし清朝最後の皇帝，宣統帝溥儀がどうしても満洲国執政の地位につこうとしないなら，誰か別の人間をでっちあげてでも，過渡期の統一の象徴が必要なのだと，はるかな昔，彼は岸井参謀に説いたことがある．(堕落　p. 37)

23) この褐色の赤ちゃんも，われわれ日々もの食う者たちの一人なのだ．働き手がない．安全なミルクが買えない．危ういミルクを飲ませてでも，さしあたりいまを生かすしかない．(もの食う人びと　p. 226)

こうした意図のもとでは慣用的な比喩表現も「テデモ」によくみられる．

24) a．自分の身をけずってでも，子供には苦労をかけたくない．
b．あらゆる犠牲を払ってでも，会社の危機を乗り切りたい．
c．若い時の苦労は買ってでもしろというのが父の口癖だった．
d．その当時はこじきをしてでも子供を育てようと思ったものだ．

「足を引きずってでも」「首に縄をつけてでも」「石にかじりついてでも」なども「テデモ」の心情的効果をよくあらわしている．以上の表現の態様を通じて観察される「テデモ」は，主文にあらわれる行為達成のために費やされる最大の許容範囲をしめしている．「テモ」の慣用句にこれが適用

されないのは，「テモ」が程度をあらわすことが第一義で，意志とは別に設定される状況だからである．

25)＊a．わたしは口が裂けてでも嘘は申しません．

＊b．王室の名誉にかけてでも事故死の原因を隠したいのだろう．

「テデモ」の用法ではまた，「な」「からな」という終助詞をともなうことによって，確認，命令要求表現があらわれることも多い．

26)「配車係から河島に，島田きよみが多野山の展望台で待ってると，そう伝えさせるんだ」

「島田きよみ．だれなの，その人」

「だれでもいい．そう言えば河島はきっと来る．乗ってる客をほっぽり出してでもな」（マリコ　p. 172）

27)「分かった．きっかり五分だけだよ．もし一秒でも遅れたら，また上って来る．今度は引きずってでも，下ろすからな」（マリコ　p. 302）

28) 何があっても，食べなくては…おふくろにそう言われたよ．わたしにはぐれたら，泣いてなんかいないで，拾ってでも食べなさい，と．戦争中の話だけど．（雫石　p. 57）

工藤（1997）は「どうしても」の共起する環境を不可能，非実現，趨勢・不可避，意志，願望，必要，判断，略体といった局面に分類しているが，これにならっていえば，「テデモ」の出現する意味範囲は，意志，願望，必要において特徴的である．これは次のような略体においてなおきわだつ．[4)]

29) ゆくゆくは高く売ろうと思っていた秘蔵地ですが，やむを得ません．原価を割ってでもと思っております．背に腹は変えられません．（広告チラシ）

「やむを得ない」「背に腹はかえられない」という窮地の状況，窮余の策をあらわす際には，手段的行為が「たとえ」「仮に」といった設定でより積極的にさし出されることになる．[5)] こうした「テデモ」の最も典型的な用法が「何としてでも」という言い方である．

30) たとえ攻撃をやられても，俺は死なない．何としてでも生き残るという思いが，なぜか胸のうちにありました．（わが勲の　p. 46）

以上の考察から，「テデモ」は後件の述語に行為達成のための強い意志性を付与することが確認された．なお，「テデモ」は後件において否定表現があらわれにくい点を付記しておく必要がある．

31)*借金をしてでも家を買わない．

この場合，「[借金をしてでも家を買う] ようなことはしない」という構造において成立し，「テデモ」が「借金をしてでも家を買う」という意志的な内容までしかかからないことをあらわしている．つまり「ようなことはしない」を付加することによって意志性のコントロールが可能となる．このことは後の「テマデ（モ）」の構成のところで再度ふれることにしたい．

3.　「ナイマデモ」の用法

3.1.　「ナクテモ」と「ナイマデモ」

ここでは動詞の否定形に「マデモ」がついた「ナイマデモ」の用法を，「ナクテモ」の用法との関連において考察する．「テモ」の否定形は通常「ナクテモ」であるが，「ナイマデモ」の意味で用いられる場合がある．

32) そんな突発事を起こさなくても，一打ちで針をしかるべき部分まで突き入れなければ患者が痛がる時があるものだ．（海と毒薬　p. 14）

この「起こさなくても」は「起こさないまでも」と言い換えても意味は変わらない．想定しうる極限の範囲，限界・程度についての打ち消し・推測をより明確にあらわす際には，一般に「ナイマデモ」が用いられる．

33) ただ今でこそ十五円の月給取りは露命も繋げない位でございましょうが，何分二十年も以前の事で，十分とは参りませんまでも，暮らしに 不自由はございませんでしたから，…（大導寺　p. 44）

34) 想像のなかの清健は，飢餓の戦場を彷徨してきたからには痩せすがれていないまでも，いささかの苦労のやつれを面に刻んでいるはず

であった．（わが勲の無きがごと　p. 35）

これらの「ナイマデモ」には現実に遭遇する以前からの推測が含意されている．同時に33）では「十分とはいえないにしても」または「十分とはいえないだろうが」という判断の留保，34）では「痩せすがれてはいないが，それに近い状態で」という範囲の上限をあらわしている．この「ナイマデモ」はしばしば「～とはいわないまでも」，「～とまではゆかないまでも」という慣用化した注釈的な表現として機能することがある．

35）彼がまだ二十歳になる前から，私は彼に目をつけていた．むろん恋愛感情とは言えないまでも，一種のリビドーが働いていたと断言できる．（動詞の考察　p. 184）

36）一番残念なことは，喫煙者の全員とは言わないまでもほとんどの人たちがところかまわず吸い殻を投げ捨てることだ．（朝日1995.2.24）

37）須藤も梅石も，風越びいきとはいわないまでも，少なくとも，風越ぎらいではない．（官僚たちの夏　p. 240）

38）たとえナポレオンやエジソン並みとはいかぬまでも，せめて五時間ぐらいにしておけないものか…．（睡眠と時間の活用　p. 56）

39）少佐も運転手も無言だった．車のなかには，険悪とまではゆかないまでも明らかに敵意の空気が満ちている．（ベルリン飛行指令　p. 343）

後件には前件であげた状況を補足説明するような，「一種の」「少なくとも」「明らかに」「せめて」といった副詞をしばしばともない，前掲状況の程度に近い性格や様子が提示される．とくに39）では「マデ」が二か所あらわれており，事態の程度に対する判断的留保が明らかである．

40）南京における残虐事件はその後も続いたので，南京事件の終焉は，日本軍の残虐行為が皆無ではないまでも（略），ずっと少なくなった三月二八日の中華民国維新政府の成立時と考えることができる．（南京事件　p. 215）

「ナイマデモ」の判断留保，注釈的，前置き表現には，このように話者の事態の憶測にもとづきながら，暗に判断しようとする意味が含まれている．文中において話者の想定する状況をあらわす「マデ」は，そもそも次の「マデニ／マデニハ」の本来の用法の延長にあるものと考えられる[6)]．

41) 彼は歯に衣きせぬ論法で過去の学説を完膚なきまでに批判している．

42) まだ論文は執筆の計画を練っている段階で，人前で発表するまでには煮詰まっていない．

「完膚なきほどまでに」「人前で発表するほどまでに」という程度を提示して，それに近い状況を示唆するのが「ナイマデモ」という形式である．以上から「ナイマデモ」は「～ほどまでには達していないにしても」という想定され得る程度や範囲を否定するときに用いられることがわかった．

なお，「ナイマデモ」は「ナカッタマデモ」の形でもあらわれる．

43) 去る者は日々に疎しで，以前ほど悲しい記憶はなかったまでも，私自身打ち殺した小夜の面影が，箒星のようにぼんやり纏わっていたのに相違ございません．（大導寺　p. 50）

「以前ほど」という対比的な状況を持ち出すことによって，現在の心境を推し量っている気持ちがあらわされている．こうした言い方にはまたいくぶん事態を抑制して述べようとする姿勢も観察される．

3.2. ふたつの「マデダ」

「ナイマデモ」は否定形に「マデ」「モ」という取り立て助詞をともなったものであるが，「マデ」に着目すると，文末にみられる「マデダ」の諸形式との関連性がみられる．「マデ」に否定がともなった場合，

a．～ナイマデダ

b．～マデモナイ

のような二つの言い方がある．否定辞「ナイ」が「マデ」に前置されると「マデダ」という言い切りの形になり，後置されると「マデモナイ」という形になる．「ナイマデモ」はこのうち，a．の文中の用法で，b．の文中の用法が「マデモナク」という形式に相当する．ここでは，a．の「ナ

イマデダ」の形式を，「マデダ」の形に含めて概観しておこう．

「マデダ」は「マデノコトダ」としても用いられ，

44) a．いやなら，即刻ことわるまでだ．

b．間違ったら，もう一度やり直すまでだ．

c．停電したなら，いっそ寝てしまうまでだ．

d．電車が動かないというなら，歩いて帰るまでだ．

e．こうなったら，ひとり残らず最後まで戦うまでだ．

のように動詞ル形に後接する場合と，

45) a．それほどまでに高かったら，買わないまでだ．

b．先方からに挨拶がなければ，話に応じないまでだ．

c．そんなに文句を言われるくらいなら，協力しないまでだ．

のように動詞ナイ形をとる場合がある．これらの「マデダ」は，「～しかない」「～ほかない／～よりしかたがない」という限定的な結論づけを多く要求する．話し手の結論，決意の表明で，「～ならば，…までだ」というような，ある想定される条件のもとで，決意選択の気持ちがあらわされることが多い．ほとんどが条件節をともない，主文には「かまわない」，「せざるをえない」といった，消極的な意志決定が提示される．

これに対してもう一つの「マデダ」は前掲内容や行為を後から補足的に説明して，意味づけるような際に用いられる．

46) 近くまで来たので，ちょっと立ち寄ったまでです／までのことです．

このような「マデダ」は通常，タ形接続となり，「～したにすぎない，たんに～だけだ」という意味で，さきの「マデダ」と同じ限定表現ではあるが，こちらのほうは結果事態を収拾し，とりつくろうような発話意図が感じ取られ，同時に，並列節，理由原因節が多くあらわれる．

47) a．ほめられるようなことではなく，当然のことをしたまでです．

b．別に悪気があって言ったことではなく，ちょっと思いつきを言ったまでです．

c．念のためにたずねてみたまでで，悪意があったわけではない．

d．君が教えてくれというものだから，教えてやったまでだ．

このように，「マデダ」には自己行為の正当性や根拠を主張するために，前件内容を言い換えたり，弁明を買ってでるといったニュアンスが感じられる．「ナイマデモ」はここでみた「マデダ」のうち，ル形につく場合の用法との連続性が認められるだろう．

3.3. 「マデモナク」と「ナイマデモ」

次に「ナイマデモ」における否定成分の位置が移動した「マデモナク」の形式について述べる．「マデモナク」は「そういう必要がない」ことを文中の接続形式として提示する言い方である．

48) 海外にいる有権者は，もう四十万人を超えている．その声が国政に反映されないことは，各国の実施例を挙げるまでもなく，選挙権の行使という当然の基本的権利をないがしろにするものである．(朝日1997.6.11)

「マデモナク」は「マデモナイコトダガ」「マデモナイホド明ラカダガ」という意味で，主文において当然の事態の出現が保証される．このような「マデモナク」は次のように倒置が可能で，「(～ノハ) ～マデモナイ (コトダ)」の形でしばしばあらわれる．

49) a．君に言われるまでもなく，私は将来の事を考えている．

b．私が将来の事を考えているのは君に言われるまでもない (ことだ)．

50) a．調べるまでもなく，この度の責任は当社にある．

b．この度の責任が当社にあるのは調べるまでもない (ことだ)．

文末にあらわれる「マデモナイ」は話し手の判断において認識的モダリティの性格をもち，限定的な意味をあらわしている．

51) ビタミンは食品にも含まれているので，偏食しなければ，特に補うまでのことはない．

「特に～ということのほどでもない」というように「ホド」の意味を含意して程度の顕在をあらわしている．倒置が常に可能であるわけではなく，

文末に移行することができない例もある．その場合，「マデモナク」は「～ないうちから」のような意味で用いられるのが普通である．

52) が，私に励まされるまでもなく，別人のように血相を変えて，必死に梁をもたげようとしていましたから，…（大導寺　p. 46）

ここで，「マデモナイ」と「ナイマデダ」を比較しておくことにする．

53) a．返してくれないというのなら，貸さないまでだ．

b．返してくれないというのなら，貸すまでもない．

a．は「貸さない」という意志決定に際して「貸さないことにするしかない，貸さないことにせざるをえない」という消極的な，留歩的な姿勢が感じられるのに対し，b．のほうは「当然貸す必要がない」といった態度が明らかで，「それほどのこともない」という打ち消しの意味が強くあらわされる．

54) 数十万は稼げないまでも，家族が暮らしていくには十分な給料だ．

55) 調べないまでも，確認ぐらいはしておくべきだ．

55) の文では，「調べる」ということが万一それほど困難をともなうのであれば，「確認する」ことだけでも十分であるとする，最小限度の行為保証を明示している．この文に「マデモナク」を使った場合，

56)*調べるまでもなく，確認ぐらいはしておくべきだ．

前件と後件の主張は別事態で，双方の意味的な接続は不自然である．比較対照という点で，「調べること」と「確認すること」の関係意味づけがなされなければならないからである．「調べるないまでも」は「調べなくてもいいが」という意味で用いられ，「調べるまでもなく」にはそのような譲歩・留保の意味はみとめられない．「調べるまでもなく」は文副詞として，「もちろん」という副詞と同格に機能しながら文全体にかかるもので，

57) a．調べるまでもなく，この度の責任はわたしにあります．

b．調べるまでもないが，この度の責任はわたしにあります．

という主文の必然的な意味づけとして用いられる．「マデモナイガ」の中止めの形でもあらわれるのも特徴的である．さらに「マデモナク」には，

「あらためて」,「わざわざ」「あえて」などの副詞をともなう点も「ナイマデモ」と比較してより顕著で，文末形式としてもあらわれやすい.

58) 見ればわかることなら，わざわざ説明するまでもないだろう.

59) 架空の世界が現実の世界とかけ離れていることはあらためて断るまでもないことだ.

また「マデモナク」は次のように「～より以前に／～ないうちから」という意味で当面の事態を遂行する場面にも用いられる.

60) 母に言われるまでもなく，わたしはすぐに荷物をまとめた.

ここで「ナイマデモ」と「マデモナク」を整理しておくと，

61) a．手術はしないまでも相当の療養が必要だ．[P＞Q]

b．手術をするまでもなく事態はより深刻だ．[P＜Q]

のように，従属文（P）のみちびく主文（Q）の意味づけに相違がみられる．a．では「～までは～ないにしても」のように，前件内容に重きを置いて、結果的に予測される最悪の事態の回避がみられるのに対して，b．では「～ないうちから」のように，後件内容により深刻な事態が設定され，前件の内容では手遅れの，すでに進行した事態が提示される.

以上,「ナイマデモ」の用法を考察してきたが，この成立にあたっては「マデ」をともなう多様な文形式に注目しながら,「マデモナク」のあらわす状況と対比的にあらわされる回避の意味特徴を明らかにした.

4. 「テマデ（モ)」の用法

ここでは動詞の「テ」形に「マデ」または「マデモ」がついた用法について観察する．早稲田大学『外国学生用日本語教科書中級［文型例文集改訂版]』の「テマデ」の項（p. 42)には次のような例文がある.

62) a．どんなに高い給料をはらっても，体をこわしてまで働きたくない.

b．旅行には行きたいが，学校を休んでまで行きたくない.

c．そんなに息をきらしてまで急いで来なくてもよかったのに.

d．嫌いなものをがまんしてまで食べる必要はない．

このように「テマデ」の導く主文には否定文があらわれることが多い．これは最初にみた「テデモ」の用法と対照的な用法として位置づけられる．「テデモ」の述語には意志的な表現がみられたのに対して，「テマデ」はそうした気持ちを回避したり抑制したりする働きが感じられる．松下の解釈に沿って述べれば，「体をこわしてまで働く」という文において「一般的なことをして働く」ことがそれにとどまらず「体をこわして働く」ことにまで及ぶ特殊な状況をあらわしている[7]．次の例文を比較されたい．

63) a．人を押し退けてでも出世したいと思う．

b．人を押し退けてまで［シテ］（も）出世したいとは思わない．

「テデモ」には「テデモ」であらわされた意志決定，判断を婉曲的に打ち消す機能がみられる．想定される極端な事態をかかげて，その可能性を否定するのが目的であることから，「テマデ」の前節部分は既知的な内容であることが多い．例えば，62) b．の文例では，

64) 旅行に行きたいことは行きたいが，…

旅行に行きたいのはやまやまだが，…

旅行に行ければ行けるに越したことはないが，…

のような留保の気持ちが含まれ，その一方で許容範囲を越えるほどの行為は差し控えようとする否定的な考慮がうかがわれる．「マデ」には程度をあらわす「ホド」と同じような機能がみられる．加えて，「テマデシテ」のように「マデ」の後には，前件の手段的行為を示唆する「シテ」がしばしば観察される点で特徴的である．一旦取り立てた内容に再度ふれながら，主張を擁護しようとする姿勢が顕著である．また，「テマデ」には主文の否定表現を導く際の特徴的な現象が多くみられる．以下，実例を見てみよう．

65) …全国の高等学校に先駆けて試験科目をもうけたその学院からの入学許可証を手にすると，その権利を放棄してまで他の学校を受験する勇気はなかった．（星と葬礼　p. 227）

66) しかし，塩津は子供が欲しいと思ったことがなかった．会社におけるポストも人並みで，人を押し退けてまで昇進したいという野心はなかった．（怖い話と短い話　p. 188）

67) とにかく大学へ入ってまでも養父母を欺き通す気はなかったらしいのです．（こころ　p. 336）

68) 取締役のほとんどは，出世の階段を駆け上がってきた社員たちだ．問題がありそうな事件でも，引き立ててもらった会長や社長に逆らってまで，反対はしない．（朝日1997.6.10社説）

これらの例に示されるように「テマデ」は「他の学校を受験する」「昇進したい」「欺き通す」などの行為にかかるのではなく，想定される行為をうけて最終的に「勇気はなかった」「野心はなかった」「気はなかった」という否定判断を導く機能が顕著である．65）～68）の主文においては，

69)?…その権利を放棄してまで他の学校を受けない．

70)?…人を押し退けてまで昇進したくない．

71)?…大学へ入ってまでも欺き通さない．

72)?…会長や社長に逆らってまで反対しない．

のように直接否定文が導かれるよりは，連体修飾節を否定述語のまえに置いた「…必要はない」の言い方や「…とは思わない」「…気はない」のように，前掲内容を埋め込み文として受けたのちに，そうした意志や願望の気持ちを打ち消す間接的な否定表現となってあらわれるのが普通である．これは「テマデ」のとる否定のスコープが文の終わりまでかかることを示している[8)]．このことから主文の文末には「ものではない」「わけではない」といった否定系のモダリティ的要素が観察されることも多い．

73) 冷静な判断力をもった指導者ならば，国民政府の重慶移転宣布によりすでに首都でなくなった南京を，上海戦で疲弊し軍紀弛緩した部隊をあのように強行軍・難行軍させてまで短期間で攻略するほどの戦略的意味がないことは，理解できたはずである．（南京事件　p. 75）

74) 私は赤面した．私は別に自分の欲望を節してまで，彼に尽しているわけではない．ただ私の不当の所得の一部で幾分の気前を見せているにすぎない．（俘虜記　p. 216）

75) 「話があるんだがね」

「もう，クビでしょ」

「いや」浅井さんは威張った顔をして畳の上にあぐらをかいて，

「もっと真面目な話なんだ」

「クビにさせられてまで今更，真面目な話もないわ」（海と　p. 95）

75）の例ではいったん想定される行為（ここでは「勤めよう」とする行為）を暗に提示して，そのような事態を打ち消すのである．しかし，一方で否定を要求しない「テマデ」の用法も少なくない．

76) 作戦室の窓から，広島湾に停泊する連合艦隊の多くの艦船が見えた．この十年来，米国海軍を仮想敵として猛訓練に明け暮れてきた海軍のその主力艦隊であった．日本がその国力を傾けてまで拡充強化につとめてきた，戦う船の群れである．（エトロフ発緊急電　p. 28）

77) 「追え．諜報員がひとり自殺してまで秘密を守ろうとしてるんだ．何か重大な謀略の可能性が高いんだぞ…」（同上　p. 432）

78) 毛利先生は生徒の機嫌をとってまでも，失職の危険を避けようとしている．（大導寺　p. 31）

ここでは「テマデ」は「テデモ」と連続しているが，その場合は78）のように「モ」をともなう「テマデモ」の二重の取り立て助詞となってあらわれる傾向がある．ここで「テマデ」の構文をまとめてみると，

a．［X］テマデ［Y］ナイ

b．［X］テマデ（モ）［Y］スル

の二種類が認められる．二つの選択条件については，a．の否定表現のほうが前提的内容を内省し，評価判断していく姿勢において，ただ単に事実内容を主張するb．とくらべて特徴的である．

5. おわりに

動詞のテ形につく取り立て助詞には，

79) a．テレビを見てばかりいてはいけません．

b．消火器を置いてでもあれば，火を消し止められたのに．

c．教科書やノートを持ってさえ来ない学生も少なくない．

のように本動詞と補助動詞とのあいだに割って入るような用法があって，これらは次のように名詞にも移動・接続することが可能であった．

80) a．テレビばかり見ていてはいけません．

b．消火器でも置いてあれば火を消し止められたのに．

c．教科書やノートさえ持って来ない学生も少なくない．

しかし，本稿でみた「テデモ」「マイマデモ」「テマデ」は動詞接続に限られ，名詞に接続した場合は不自然である．

81) a．?借金でもして家を建てたい⇨借金してでも…

b．?車まで乗らなくても歩いて行ける⇨車に乗らないまでも…

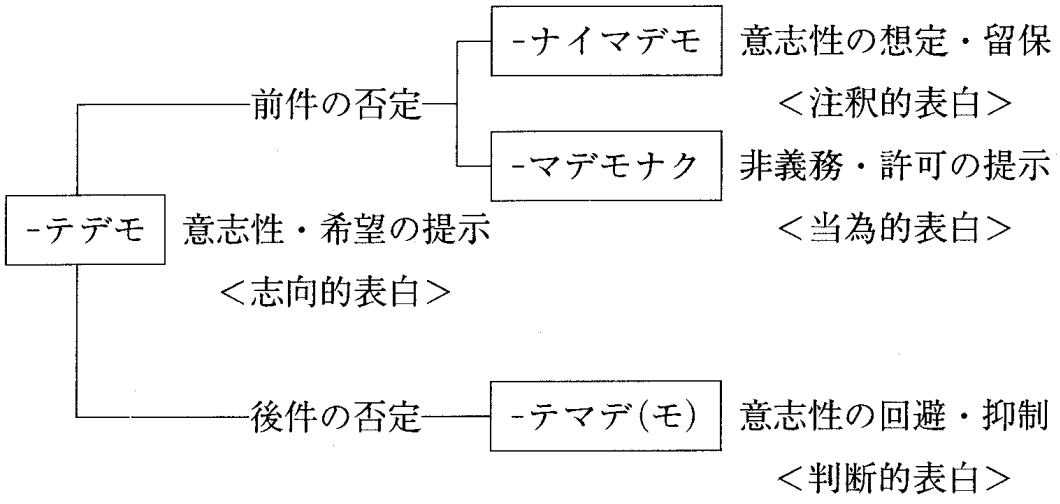
c．?カンニングまでしていい成績をとる⇨カンニングしてまでも…

こうした取り立て助詞の移動の制約，限定は「コソ」にも見られる．

82)?自分で苦労こそして，喜びも大きいというものだ．

⇨自分で苦労をしてこそ，喜びも大きいというものだ．

本稿では「テモ」の逆条件文と関連性，連続性がみられる「テデモ」，「ナイマデモ／マデモナク」「テマデ（モ）」の形をとりあげ，いくつかの構文的な特徴を考察してみたが，これらの表現に共通して観察される特徴は述語部分における，事態遂行にともなう意志決定や判断のありかたであろう．以上の考察から，「テデモ」，「ナイマデモ／マデモナク」，「テマデ（モ）」における関連性を図示してみるとおよそ次のようになろう．



日本語の「ようとする」をはじめとする意志表現のありかたを文の環境において考えるとき，これら「テモ」構文の派生形式は明らかにそれらの誘導的成分として機能していることがわかった．話者における意志発動の成立には，それが引き起こされるべき必然的な状況を必要とする．目的達成のための到達行為にかかわる表現として，これらの四つの形式が位置づけられる．事態に対処する行為者の意志性の出現のありかたは，対比的な形式でコントロールされることがこれらの表現によって理解される．

従来の「テモ」の条件文は多く条件的な機能を抽出して議論されてきた傾向があるが，ここで考察したように，意志決定の重要な命題的な機能をになっている側面もまた，「テデモ」「ナイマデモ」「テマデ」などの周辺的用法を考察することによって検証される．「デモ」「マデ」といった取り立て助詞によって，動作行為に対する話者の意志性をコントロールする機能が文のモーダルなありかたに深く関与していることも確認された．取り立て助詞の位置，機能は文の陳述にも大きな影響をもたらす．本稿では「テデモ」をはじめとする用法をみてきたが，動詞に直接つきそう取り立て助詞の他の諸相については別の機会に論じることとしたい．

[付記] 本稿執筆にあたり，編集委員会査読委員の諸先生から適切なご助言をいただいた．ここに記して感謝申し上げる．しかしながら今回十分にその

趣旨を生かし切れなかった点があるとすれば，全て筆者の責任である．

【注】

1) 『現代語の助詞・助動詞』には本稿で扱う「テデモ」「テマデ」の用例はひとつもあげられていない．

2) 松下は「東京に居ても始まらない．満洲へでも行こうか」などにあらわれる「デモ」を「確定ができないことを，姑（しばら）く仮に例示する語」と述べている．360ぺ．

3) 前田(1995)では「テモ」の構文的タイプを1)テ形の並列・取り立て2)並列条件，3)逆条件，4)並列・逆条件（ナクテモ）の四つのタイプに分類している(145-148ぺ）が，「テデモ」「テマデ」が1)と，「ナイマデモ」が4)のタイプと連続性があるとみとめられる．

4) さらに「テデモ」の陳述度については疑問文，連体節などの成否をみる必要があるが，今回の用例では見いだせなかった．

5) 小矢野(1997)では「たとえ」が出現する「シテデモ」形を170例中のわずか3例と報告しているが，これは「テデモ」がすでに「たとえ」というらめ的なモダリティを含意しているためと思われる．

6) 「マデ」の取り立ての機能については「意外性」という言葉でしばしば記述される．中西 1995，伊藤 1997など．本稿では意志性の制御という観点からとらえたい．

7) 松下は提示の「マデ」は「必ず連用語につき，意味は程度の甚だしさをあらわす」と述べている．359ぺ．

8) 寺村1986では「前提」内容に対する「含意」印象をあらわす機能としてとらえられている．このほか，富田（1997）で比較的詳しく「テマデ」の意味用法について述べているが，「テデモ」との連続性についてはふれていない．

9) 「テマデ」には「借金をしてまでは（そこまでしては）行きたくない」のように対比・限定をあらわす「ハ」をともなうこともある．また，「テデモ」が連体的な用法が成立しない（「＊借金をしてでもの家の改築」）のに比べて，「テマデ（モ）」では「大蔵官僚を巻き込んでまでの接待；大蔵官僚までを巻き込んでの接待」のように可能である．

【例文出典】（順不同）

『星と葬礼』（吉村昭，文春文庫1992），『ベルリン飛行指令』（佐々木譲，新潮文庫1988），『エトロフ発緊急電』（佐々木譲，新潮文庫1989）『マリエの客』（逢坂

剛，講談社文庫1996)，『官僚たちの夏』（城山三郎，新潮文庫1980)，『堕落』（高橋和巳，新潮文庫1982)，『散華』（高橋和巳，新潮文庫1982)，『夏の海の色』（辻邦生，中公文庫1992)，『大導寺信輔の半生・手巾・湖南の扇』（芥川竜之介，岩波文庫1990)，『怖い話と短い話』（結城昌治，中公文庫1992)，『俘虜記』（大岡昇平，新潮文庫1952)，『もの食う人びと』（辺見庸，角川文庫1997)，『動詞の考察』（佐野洋，講談社文庫1998)，『哀原』（古井由吉，文芸春秋1977)，『南京事件』（笠原十九司，岩波新書1997)，新聞他.

【参考文献】

伊藤智博（1997)「『まで』の表現機能に関する一考察」　『日本語・日本文化』23号　大阪外国語大学留学生日本語教育センター

工藤浩（1997)「『どうしても』考」　鈴木泰・角田太作編『日本語文法の諸問題—高橋太郎先生古希記念論文集—』　ひつじ書房

小矢野哲夫（1997)「うらめ条件—接続のモダリティ副詞（「たとえ」の使用条件)」　川端善明・仁田義雄編『日本語文法—体系と方法—』　ひつじ書房

近藤泰弘（1983)「副助詞の体系—現代日本語—」　『日本女子大学紀要文学部』　32号

田中寛（1988)「逆条件文＜テモ＞について」　『日本語教育』67号　日本語教育学会

寺村秀夫（1986)「『前提』『含意』と『影』」『論集日本語研究(1)現代編』明治書院　『寺村秀夫論文集Ⅱ』（くろしお出版1993）に再録

————（1991)『日本語のシンタクスと意味Ⅲ』　くろしお出版

富田隆行（1997)『続・基礎表現50とその教え方』凡人社

永野賢（1951)『現代語の助詞・助動詞—用法と実例—』　秀英出版

中西久美子(1995)「モ　マデ　サエ　スラ—意外性をあらわす取り立て助詞—」宮島達夫・仁田義雄編『日本語類義表現の文法（上）単文編』　くろしお出版

沼田善子（1987)「とりたて助詞」　奥津敬一郎編『いわゆる日本語助詞の研究』　凡人社所収

————（1993)『セルフマスターシリーズ・とりたて』　くろしお出版

前田直子（1997)「日本語複文の記述的研究—論理文を中心に—」　大阪大学博士論文（未刊行）

松下大三郎（1977)『増補校訂標準日本口語法』　復刻版　勉誠社

『外国学生用日本語教科書日本語中級文型例文集』　早稲田大学日本語研究教育センター1995